

安全について

SQの電源を入れる前に、このガイドとともに提供されている安全に関する説明書（AP9240 / CL1-1）をお読みください。オペレーター、テクニカル、パフォーマーの安全のために、すべての指示に従い、これらの文書に記載されている(機器への印字を含む)すべての警告に注意してください。

登録について

最新ファームウェアと情報更新のために、SQを下記に登録してください：

www.allen-heath.com/register

ファームウェアとリファレンスガイド

本書では、SQ-5ハードウェアと動作について概要を説明します。

ファームウェアおよびリファレンスガイドの最新バージョンを入手するには、www.allen-heath.com を参照してください。SQ Appsを使用する場合は、最新のファームウェアが必要です。

特徴

SQは、高解像度の96kHzオーディオミキシングコンソールです。最新の技術を使用して、最も詳細で正確な音質を提供するとともに、拡張性と統合のためのさまざまなオプションを備えています。

SQ 詳細

48入力チャンネル、プリアンプ、HPF、PEQ、ゲート、コンプ、ディレイ
32出力チャンネル（LR、12モノ/ステレオミックス、3ステレオマトリックス）
8ステレオFX、専用リターンチャンネル付き
8つのミュートグループ、8つのDCAグループ
ソースパッチ（ローカル、SLinkリモート、オプションカード、USB）
出力ソケットとインサート I / Oパッチ
マルチチャンネルUSBストリーミングとUSBドライブへの直接録音
トークバックマイク入力、デュアルフットスイッチコントロール、ワイヤレスコントロール

SQ-5 仕様

96フェーダーストリップ（16 + 1フェーダー、6レイヤー）
16個のローカルマイク/ライン入力ソケット
3つのローカルステレオライン入力ソケット
12個のXLR + 2 TRS出力ソケット
8つのアサイン可能なソフトキー
ラックマウント可能

SLink ポート相互性	Sample Rate	Protocol	最大長さ
DX168, DX16-4W, DX Hub	96kHz	DX	100m Cat5e 以上
AR2412, AR84, AB168	48kHz	dSnake	120m Cat5e 以上
ME-U, ME-1, ME-500	48kHz	dSnake	Cat5e 以上

Accessories

SQ-5-RK19	19" ラックマウントキット (12u)
SQ-BRACKET	iPad/tablet用メタルブラケット
AP11332	撥水加工ポリエステルダストカバー、ロゴ入り
AR84	8 XLR input, 4 XLR output, dSnake Remote AudioRack (ラックマウント)
AR2412	24 XLR input, 12 XLR output dSnake Remote AudioRack (ラックマウント)
AB168	16 XLR Input, 8 XLR Output, dSnake Remote AudioRack (ステージボックス/ラックマウント)
DX168	16 XLR Input, 8 XLR Output, 96kHz DX Remote AudioRack (ステージボックス/ラックマウント)
DX164-W	16 XLR Input, 4 XLR Output, 96kHz DX ウォールマウントオーディオエキスパンダー
DX-HUB	Remote Audio Hub with 4 DX Link ports (ラックマウントキット別売)
AH9650	100m drum of EtherFlex Cat5e with locking Neutrik EtherCon connectors
AH9981	50m drum of EtherFlex Cat5e with locking Neutrik EtherCon connectors
AH9651	20m of Neutrik EtherFlex Cat5e with locking Neutrik EtherCon connectors

① **タッチスクリーン、スクリーン選択キーおよびスクリーンエンコーダー**

以下のキーを使用して、処理を表示し、ルーティングおよび設定メニューにアクセスします。タッチしてパラメータを選択し、ロータリーを使用して値を調整します。

② **フェーダー・ストリップとレイヤー選択キー**
16フェーダー、6レイヤーは、チャンネル、リターン、マスター、DCAの任意の組み合わせにアクセスするためにアサイン可能な96のフェーダーストリップがあります。各ストリップには、フェーダー、ミュート、セレクトとPAFL、ピークとシグナルメーターがあります。

③ **Ident ストリップ**
LCDディスプレイには、16個のストリップのそれぞれのチャンネル名と色が表示されます。「View」キーを押すと、入力ソースなどの2次情報が表示されます。

④ **チャンネル (Pre/HPF/Gate/Comp)**
選択したチャンネルのコントロール。プリアンプ、HPF、ゲートスレッシュホールド、Compスレッシュホールド。

⑤ **チャンネル (PEQ/GEQ)**
選択したチャンネルのコントロール。EQバンド選択キーとパラメトリックコントロール。選択したミックスGEQをフェーダー表示にするには、「Fader Flip」キーを使用します。

⑥ **パンコントロール**

⑦ **マスターストリップとミックスセレクトキー**
青色の「Mix」キーを押して、16フェーダーのセンドとマスターフェーダーストリップのマスターを表示します。メインLRミックスとチャンネルフェーダーを操作するには、「LR」を選択します。

⑧ **FX センド選択キー**
青色の「FX」キーを押してセンドを16のフェーダーに、マスターをマスターフェーダーストリップに送ります。

⑨ **ヘッドフォン出力とレベルコントロール**

⑩ **メインメーター**
LR Mixまたは選択したPAFL信号レベルを表示します。

⑪ **トークキー**
トークバックマイク用のモメンタリーまたはラッチスイッチ。

⑫ **SQ-Drive ポート**
USBに直接オーディオを録音/再生します。USBを使用して、シーン、ショー、ライブラリーのデータを転送します。SQファームウェアを更新に使用します。

⑬ **ST3 入力**
3.5mmステレオジャック入力、外部バックグラウンドミュージックデバイスへ接続できます。

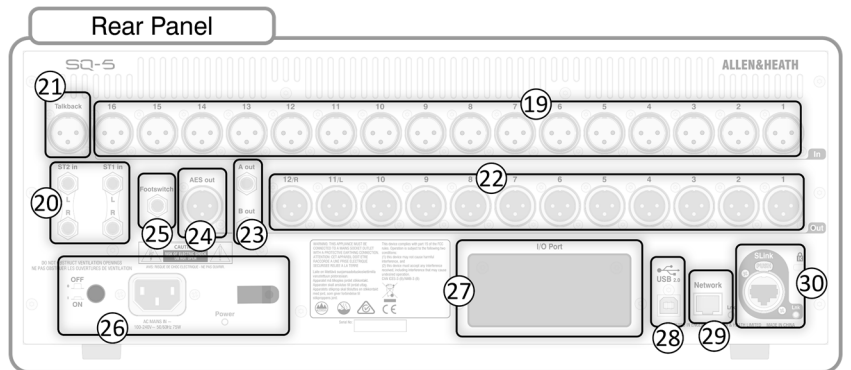
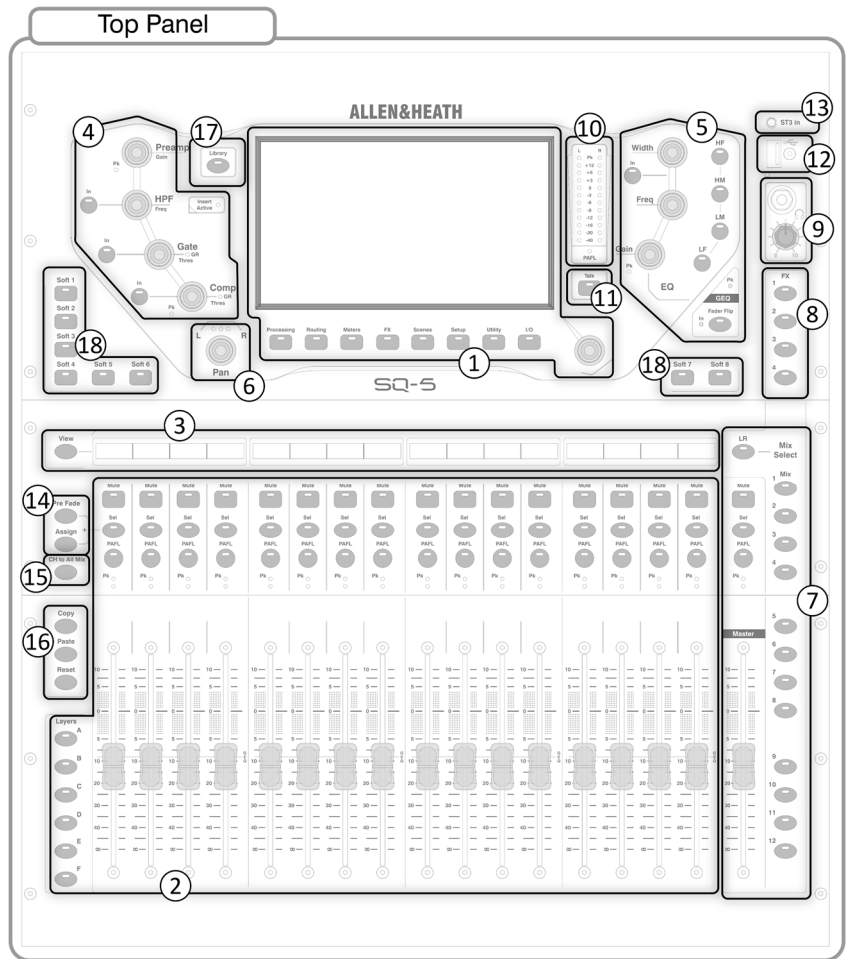
⑭ **プリフェードとアサインキー**
「Pre-Fade」を押しながら「Sel」を押すと、フェード前またはフェード後のチャンネルを切り替えることができます。「Assign」を押しながら「Sel」を押すと、選択したミックスにチャンネルをルーティングします。

⑮ **CH to All Mix Key**
「CH to All Mix Key」押し続けると、現在選択されているチャンネルのすべてのミックスを送ることができます。identストリップはミックス名を表示します。

⑯ **コピー/ペースト/リセットキー**
プロセッシングブロックまたはチャンネルパラメータのコピー、ペースト、またはリセットに使用されます。

⑰ **ライブラリーキー**
チャンネル/ミックス/ FX処理のプリセットの保存とリコールのために異なるライブラリーを開きます。

⑱ **アサイン可能なソフトキー**
セットアップ画面を使用して、ミュート、タップテンポ、シーンリコール、SQ-Driveコントロールなどの機能をアサインします。



⑲ **ローカルマイク/ライン入力**

⑳ **ローカルステレオライン入力**

㉑ **トークバックマイク入力**

㉒ **ローカルXLR出力**

㉓ **ローカルTRSジャック出力**

㉔ **AESデジタル出力**

㉕ **モノ/デュアルフットスイッチ接続**

㉖ **主電源入力およびスイッチ**

㉗ **I/Oポート - オプションカード**

マルチフォーマットマルチチャンネルデジタルオーディオ

㉘ **USB-B ポート**

マルチチャンネルオーディオとMIDI I/O用のコンピューターへの接続します。

㉙ **ネットワークポート**

ネットワーク/ワイヤレス制御のためにルーターに接続します。

㉚ **SLink ポート**

Allen&Heath リモートオーディオラック (AB、AR、DX、およびMEパーソナルモニター) への接続します。

電源オン

- i. 電源コードを接続します (26)。
- ii. (19), (20), (21)に入力ソースを接続します。
- iii. 出力 (22), (23) にアンプ、スピーカーまたは、他のラインレベル入力に接続します。
- iv. 必要に応じて、(24), (27), (28), (30)を使用してAudioRacksやコンピュータなどのデジタルI/Oを接続します。
- v. フットスイッチを使用している場合は、これを接続します (25)。
- vi. プッシュボタンでSQのスイッチを入れます (26)。
- vii. 接続されているアンプまたはパワードスピーカーの電源を入れます。

設定

Scenes



すべてのミックス、パラメーター、およびルーティングの設定を行うには、「Scenes」画面 (1) に進み、「ミックス設定のリセット」ボタンを押し続けます。これは、保存されたシーンやライブラリを削除せずにミキサーを「ゼロ」にします。

I/O



パッチを確認または変更するには、「I/O」画面 (1) に移動し、マトリックスを使用してローカル/デジタル入力からSQ入力チャンネルにパッチを適用し、SQ出力[LR / Mix / Group / Matrix / DirectOut]をローカル/デジタル出力にパッチすることができます。

ワークフロー



青色の「LR」、「Mix」、「FX」キーを押して、16個のフェーダーストリップに選択したミックスのセンドレベルを表示します。レイヤーキー (2) を使用してフェーダーの6つのレイヤーに移動し、個々のレベルを調整します。マスターストリップ (7) は、選択したミックス/FXのマスターセンドレベルをコントロールします。



フェーダーストリップ (2) またはマスターストリップ (7) の緑色の「Sel」キーを押してストリップを選択します。選択したストリップのパラメーターを調整するには、(4), (5), (6) を使用します。

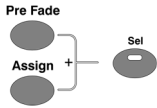
Processing



選択したストリップの処理の概要を表示するには、「Processing」画面に移動します。処理の任意の部分をタップして詳細な表示を確認し、画面上的パラメーターをタッチし、タッチスクリーンエンコーダ (1) を使用して調整します。



ストリップがミュートされると、ミュートキーが点灯します。デフォルトでは、PAFL (Pre / After Fade Listen) キーを使用すると、一度に1つのチャンネルをPAFLバス/フォン出力にルーティングできます。PAFLの設定は、「Setup」画面で変更できます。



LRセンドレベルに続いて、ミックスセンドを「Post Fade」に設定します。選択したミックスの「Pre Fade」と「Post Fade」の間でチャンネルを切り替えるには、「Pre Fade」キーを押しながら「Sel」キーを使用します。現在選択されているミックスからストリップをアサインまたはアサインするには、「Assign」キーを押しながら「Sel」キーを使います。

CH to All Mix



'CH to All Mix'キーを長押しすると、現在選択されているストリップのセンドレベルがメインフェーダーストリップに表示されます。



「FX」キーを押して、FXエンジンを選択します。FXタイプとプリセットを呼び出すには、「Library」キー (17) を使用します。オンスクリーンとタッチスクリーンエンコーダーを使用してパラメーターを変更します。FXバス1~4 (8) はデフォルトでFXエンジン1~4に送信されます。FXリターンチャンネルは、ステレオ入力チャンネルと同じ方法でミックスにルーティングできます。



「Copy」キーを押しながら、「In」キー (4), (5) を押し、「Sel」キー (2), (7) またはスクリーン上でコピーします。「Paste」キーを押しながら「Sel」キー (2), (7) を押し、「コピーした処理を別のチャンネルにペーストします。「Reset」キーを押しながら「In」キー (4), (5) を押し、「Sel」キー (2), (7) またはスクリーン上でパラメーターをリセットします。

ストアとリコール

Scenes



「Scene」は、ミックスを保存またはリコールするために使用されます。「ショー」は、複数のシーンとすべての設定で構成されています。

現在のショーのシーンリストにアクセスするには、「Scenes」キーを押します。

シーンを呼び出すときにどの設定/パラメーター/ストリップを決めるかは、シーンフィルターと「Safe」の組み合わせによります。

電源オフ

- i. 接続されているアンプやパワードスピーカーの電源を切ってください。
- ii. 「Home」画面に移動し、「Shut Down」を選択します。
- iii. プッシュボタンで装置の電源をオフにします (26)。

接続

モノ/ステレオ入力	マイク/ラインレベル	XLR	1=Gnd, 2=+, 3=-
ST1, ST2 入力	ラインレベル	1/4" TRS ジャック	Tip=+, Ring=-, Sleeve=Gnd
ST3 入力	ラインレベル	3.5mm ジャック	Tip=Left, Ring=Right, Sleeve=Gnd
XLR 出力	ラインレベル	XLR	1=Gnd, 2=+, 3=-
ジャック出力	ラインレベル	1/4" TRS ジャック	Tip=+, Ring=-, Sleeve=Gnd
SLink	RJ45/EtherCON. Cat5e ケーブル以上、各拡張ユニットの説明書を参照してください。		
AES ステレオデジタル出力	デジタル	XLR	110Ω AES ケーブル
USB 接続 (リア)	USB-B, USB 2.0規格に準拠		
ネットワーク接続	RJ45, Cat5e ケーブル以上		
フットスイッチ	1/4" TRS (デュアル) または、TS (モノ) ジャック		

さらなる情報とサポート

Allen & Heathのウェブサイトには、さらなる情報や知識ベースについて、Allen & Heath Digital Communityへのアクセスなど、多くのサポートリソースが用意されています。

詳細は、お住まいの地域のAllen & Heath代理店にお問い合わせください。

メーカー保証期間は1年間とします。

Allen & Heath は、材料および製造上の欠陥に対して、オリジナルパッケージ (Allen & Heath 製品) に含まれる Allen & Heath - ブランドのハードウェア製品および付属品を、Allen & Heath のユーザーマニュアル、技術仕様およびその他の Allen & Heath 製品に従って使用された場合、エンドユーザーである購入者 (「保証期間」) によって、最初の購入日から1年間の期間を定めガイドラインを公表します。

パッケージ化され Allen & Heath ハードウェアと共に販売された場合でも、この保証は任意 Allen & Heath ブランドのハードウェア製品または任意のソフトウェアには適用されません。

ソフトウェア (以下「EULA」) の使用に関して、あなたの権利の詳細については、ソフトウェアに付随する使用許諾契約書を参照してください。

EULA、保証ポリシーおよびその他の有用な情報の詳細については、ALLEN&HEATH のウェブサイト上で見ることができます: www.allen-heath.com/legal。

証期間の下での修理・交換は、保証期間の延長または更新の権利は提供されません。この保証期間の下での製品の修理または直接交換は、機能的に同等のサービス交換ユニットで行われるかもしれません。

この保証は譲渡することができません。この保証は、購入者の唯一かつ独占的な賠償となり、Allen & Heath もその承認されたサービスセンターのいずれも、いかなる偶発的または間接的損害、またはこの製品のいかなる明示的または黙示的な保証の違反に対する責任を負うものではありません。

保証条件

機器は、意図または偶発的な不正使用、不履行、またはユーザーガイドやサービスマニュアルに記載されている内容、または Allen & Heath により承認された内容以外の変更を対象としていません。

任意の必要な調整、変更、修理は、認可された Allen & Heath の販売代理店または代理人によって行われます。欠陥のあるユニットは、購入証明書で認可された Allen & Heath 代理店またはエージェントに運賃前払いで購入場所に返却されます。出荷前に販売代理店またはエージェントと話し合ってください。返却されるユニットは、輸送の損傷を避けるために、オリジナルのカートンに梱包する必要があります。

免責事項: Allen & Heath はどちらか修理または交換されている製品のいずれかの保存/保存されたデータの損失に対する責任を負いません。

追加の保証情報については、お使いの Allen & Heath 販売代理店にお問い合わせください。さらなる情報が必要な場合は Allen & Heath 社にお問い合わせください。

Allen & Heath により承認されない機器の変更や修正は、製品のコンプライアンスとそれを操作するためのユーザーの権限が無効になることがあります。



SQシリーズ製品は、欧州電磁適合性指令2014/30 / EUおよび欧州低電圧指令2014/35 / EUに準拠しています。

Allen & Heathの承認を得ていない製品の変更や改造は、製品の遵守、したがってユーザーの操作権限を無効にする可能性があります。

SQ-5 Introduction | AP11089 Issue 2

Copyright © 2017 Allen & Heath. All rights reserved.

ALLEN&HEATH

Allen & Heath Limited, Kernick Industrial Estate, Penryn, Cornwall, TR10 9LU, UK

www.allen-heath.com



株式会社アートウィズ

本社: 〒162-0041 東京都新宿区早稲田弦巻町5-11 Tel: 03-3202-2330 / Fax: 03-3202-2331
山梨事業所: 〒409-3845 山梨県中央市山之神通団地3-3-4 Tel: 055-274-4004 / Fax: 055-274-4004